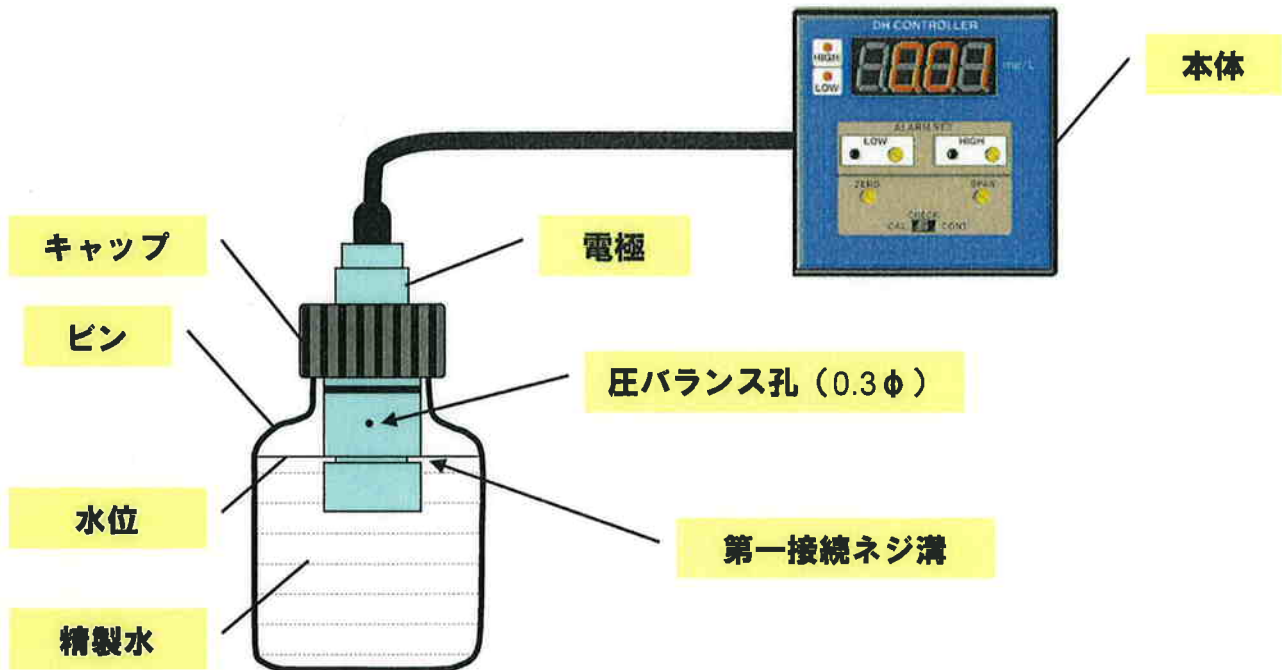


必ずお読みください！



溶存水素計本体と電極 取り扱い上の注意



- 本体の電源は**常時ON**状態にしてください。
- ピンの**水位は第一接続ネジ溝まで**にしてください。また、水は一週間毎に交換してください。
- 保管時や搬送時に**ピンを横倒しにしない**でください。
圧バランス孔に水が入り、内部液と混ざると反応が鈍くなります。
- 電極先端部に気泡が留まっていると計測が出来ません。
傾けるなどして気泡を逃がしてください。（その際、圧バランス孔が水に漬からないようご注意ください。）
- 電極先端部には非常に薄い膜があります。触れないでください。万が一汚れや異物が付着した際にはティッシュ等でなるべく圧力はかけずにやさしく拭いてください。
また、搬送時にはピン内部に回転子を入れないでください。膜を傷つける恐れがあります。
- ピンの**キャップは強く締めすぎない**でください。破損の恐れがあります。
搬送時には粘着テープ等でキャップを固定してください。
- **メンテナンスについて**
溶存水素電極は非常にデリケートです。必ず**定期的に校正とメンテナンス**を行ってください。
納入後**1ヶ月目**に無料点検をいたします。
以降3ヵ月毎のメンテナンス（内容:膜・内部液交換、スパン校正／費用:15,000円）
が電極を長期間正常に保ちます。